

心配・不安 (SCAS-P)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	全然ない (0)	たまにある (1)	ときどきある (2)	よくある (3)
1 色々と心配事がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 困ったことがあると、お腹の調子が悪いと訴える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 怖いと訴える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18 困ったことがあると心臓の動きがとても早くなると訴える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20 何か自分に悪いことが起こらないかと心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22 困ったことがあると体が震える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

心配・不安 (SCAS-P)

表1 パーセンタイル (ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値)

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	3	3	0	1	0	0
2	6	6	4	5	7	0
3	15	13	18	16	24	10
4	25	18	33	32	40	21
5	42	31	49	46	55	32
6	48	42	62	59	67	46
7	55	49	72	72	77	57
8	67	54	78	79	83	68
9	78	59	84	83	85	76
10	85	69	91	88	89	87
11	97	8	93	92	91	96
12	98	92	96	95	98	97
13	100	93	97	96	100	97
14	100	95	98	98	100	98
15	100	97	99	99	100	99
16	100	100	100	100	100	99
17	100	100	100	100	100	100
18	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

パニック発作 (SCAS-P)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもの最もあてはまる回答を選んでください。

	全然ない (0)	たまにある (1)	ときどきある (2)	よくある (3)
12 突然理由もなく息ができなくなるような感じがすると訴える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19 突然理由もなく体（の一部）が震えだすことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25 自動車やバスや電車で外出するのをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27 人がたくさんいるところ（デパート、映画館、バス、混雑した公園など）をこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28 突然全く理由もなくこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30 突然理由もなく目が回ったり、くらくらしたりすると訴える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
32 突然理由もなく心臓がとてもドキドキすると訴える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
33 こわがることは何もないのに、突然恐怖を感じるのではないかと心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
34 トンネルや小さい部屋のような、小さくて閉ざされた場所をこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか？ ない () 少しある () 多くある ()

パニック発作 (SCAS-P)

表1 パーセンタイル (ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値)

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	54	29	53	47	56	31
2	65	41	69	67	66	52
3	70	54	74	76	73	61
4	74	64	80	81	78	67
5	79	74	82	85	84	76
6	93	79	87	90	89	80
7	95	82	91	92	90	83
8	96	83	94	93	91	86
9	97	85	96	94	94	90
10	100	86	97	95	96	92
11	100	92	98	97	98	94
12	100	93	99	98	100	95
13	100	95	99	98	100	96
14	100	97	100	99	100	96
15	100	100	100	99	100	97
16	100	100	100	99	100	99
17	100	100	100	99	100	100
18~27	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

信頼してる人から離れることに対しての不安（分離不安） (SCAS-P)

子どもの
名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	全然ない (0)	たまにある (1)	ときどきある (2)	よくある (3)
5 家で一人であることをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 親のもとを離れることについて心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 家族だれかに何か悪いことが起きないか心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 一人で寝るのをこわがります	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 緊張したりこわくなったりするので、朝学校に行くのが大変である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
38 一晩中、家から離れて過ごすのをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか？
ない () 少しある () 多くある ()

信頼してる人から離れることに対しての不安（分離不安） (SCAS-P)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	2	3	4	6	8	6
2	3	5	13	13	32	20
3	10	11	28	23	58	36
4	17	14	40	39	68	49
5	24	23	51	48	72	58
6	29	34	62	53	80	65
7	34	46	70	60	87	77
8	45	59	77	68	91	82
9	53	66	82	76	96	92
10	61	72	88	84	98	94
11	70	78	90	88	100	96
12	81	84	92	93	100	100
13	85	92	95	95	100	100
14	91	97	96	97	100	100
15	94	100	98	99	100	100
16	97	100	99	99	100	100
17	99	100	100	100	100	100
18	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

社会的場面で感じる不安(シャイネス・社会不安)

(SCAS-P)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	全然ない (0)	たまにある (1)	ときどきある (2)	よくある (3)
6 テストを受けなければならないときに、こわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 公衆トイレを使わなければいけないときに、こわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 みんなの前でふざけたりするのをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 学校で悪い成績をとらないかと心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26 他の人が自分のことをどう思っているのかを心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
31 クラスのみんなの前で話するのをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

社会的場面で感じる不安（シャイネス・社会不安） （SCAS-P）

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	3	0	2	1	0	0
2	9	3	6	3	11	4
3	16	11	15	8	13	13
4	24	18	26	15	21	17
5	30	32	42	29	37	30
6	43	47	55	42	59	40
7	63	57	66	51	69	47
8	75	62	76	61	74	57
9	82	69	84	72	78	65
10	85	80	89	80	81	73
11	88	89	92	85	83	85
12	91	95	93	88	89	94
13	93	97	97	91	91	96
14	94	98	98	95	96	98
15	100	99	99	98	100	99
16	100	100	99	98	100	99
17	100	100	100	99	100	100
18	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

強迫観念・行為 (SCAS-P)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	全然ない (0)	たまにある (1)	ときどきある (2)	よくある (3)
13 何かをしたとき、きちんとやったかどうか確認しないと気がすまない (例: 電気をきしたか、ドアの鍵を閉めたか)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 悪い考えや、ばかげた考えを、頭の中から追い出すことができない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24 悪いことが起きないように、特別なこと (数字や言葉など) を考えないと気がすまない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
35 何度も繰り返しやらなければ気がすまない (例: 手を洗うこと、ある手順での掃除や整理整頓)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
36 頭に浮かぶ悪い、もしくは、ばかげた考えやイメージに悩まされる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
37 悪いことが起こらないように、正しいやり方で、あることをしなければ気がすまない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

強迫観念・行為 (SCAS-P)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	31	13	26	26	37	11
2	44	39	44	42	51	28
3	50	54	61	58	61	43
4	59	68	71	68	72	56
5	65	74	80	77	77	71
6	71	81	86	84	82	78
7	79	89	89	86	85	82
8	85	95	91	90	87	88
9	91	97	94	92	91	90
10	97	99	96	93	94	94
11	98	100	97	95	96	98
12	98	100	98	96	97	99
13	99	100	99	97	98	99
14	100	100	99	98	99	100
15	100	100	99	98	100	100
16	100	100	99	99	100	100
17	100	100	99	99	100	100
18	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

特定の状況や物に対する不安・恐怖心 (SCAS-P)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	全然ない (0)	たまにある (1)	ときどきある (2)	よくある (3)
2 暗いところをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 犬をこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21 お医者さんや歯医者さんへ行くことをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23 高いところをこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28 突然全く理由もなくこわがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

特定の状況や物に対する不安・恐怖心 (SCAS-P)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	0	3	10	6	35	10
2	6	11	28	20	52	13
3	14	23	43	32	61	31
4	33	33	57	46	73	57
5	45	45	71	56	84	74
6	52	58	83	65	87	80
7	58	77	89	76	91	88
8	70	84	92	85	94	96
9	81	87	95	89	98	100
10	91	94	97	94	100	100
11	97	100	98	96	100	100
12	98	100	99	98	100	100
13	100	100	100	99	100	100
14	100	100	100	100	100	100
15	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

悲しみ、落ち込み、喜びの喪失

(SMFQ-P)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

ここ2週間のあなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	あてはまらない (0)	時々あてはまる (1)	あてはまる (2)
1 悲しい気持ちになったり、楽しくなかったりするようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 何をしても楽しくないようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 とても疲れているようで、座ってるだけだったり、何もしない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 とても落ち着かないようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 もう何も良くなれないと感じているようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 たくさん泣いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 ちゃんと考えたり集中したるすることが難しいようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 自分のことが嫌なようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 自分は悪い子どもだと思ってるようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 さみしそうだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 誰も自分のことを好きではないと思ってるようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 他の良い子ども達みたいにはなれないと思ってるようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 全てのことがうまくいかないと思ってるようだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

あなたの子どもは、自分を傷つけたり、死んだ方が良かったりすることがありますか? (PHQ-A) ない () ある ()

Mood and Feelings Questionnaire - Parent Report Short Version

[https://www.scaswebsite.com/ence-and-Waters-\(2004\).](https://www.scaswebsite.com/ence-and-Waters-(2004).) A parent report measure of children's anxiety. Behaviour Angold, A., Costello, E. J., Messer, S. C., Pickles, A., Winder, F., & Silver, D. (1995) The development of a short questionnaire for use in epidemiological studies of depression in children and adolescents. International Journal of Methods in Psychiatric Research, 5, 237 - 249.

悲しみ、落ち込み、喜びの喪失 (SMFQ-P)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	14-17歳		合計点	14-17歳	
	男 (%)	女 (%)		男 (%)	女 (%)
0	0	0	16	99	86
1	22	22	17	99	87
2	37	35	18	100	91
3	54	45	19	100	92
4	65	53	20	100	94
5	72	59	21	100	95
6	77	64	22	100	96
7	81	68	23	100	97
8	85	70	24	100	97
9	88	73	25	100	98
10	90	77	26	100	100
11	91	79			
12	93	80			
13	94	82			
14	95	84			
15	96	85			

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

不注意 (SNAP)

子どもの名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもの最もあてはまる回答を選んでください。

	全くない (0)	たまにある (1)	よくある (2)	常にある (3)
1 学習や他の活動で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたいする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 課題や遊びの活動で、注意を集中し続けることが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 直接話しかけられているのに聞いてないように見える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 指示されたことに完全には従えず、学校や家でやるべきことを最後までやり遂げない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 課題や活動を整理したり、順序立てて取り組むことが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 気持ちの集中が必要な課題を避けたり、嫌ったり、またはいやいや行う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 学習や活動に必要な物をなくしてしまう (おもちゃ、宿題、鉛筆、本など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 周囲からの刺激によって気が散ってしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 日々の活動で忘れっぽい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

SNAP-IV 26 Parent Rating Scale

Swanson JM, Kraemer HC, Hinshaw SP, Arnold LE, Conners CK, Abikoff HB, et al. Clinical relevance of the primary findings of the MTA: success rates based on severity of ADHD and ODD symptoms at the end of treatment. Journal of the American Academy of Child and Adolescent Psychiatry. 2001;40:168-179.

不注意 (SNAP)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳		合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)		男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0	16	93	96	93	96	92	97
1	13	20	13	23	15	22	17	94	97	95	97	93	98
2	24	33	22	37	23	32	18	96	98	96	97	94	98
3	35	47	33	49	31	42	19	97	98	97	98	95	99
4	46	58	42	58	39	53	20	98	98	98	98	96	99
5	55	66	51	66	46	63	21	98	99	98	99	97	99
6	63	73	58	73	53	71	22	98	99	99	99	98	99
7	70	77	65	78	60	76	23	99	99	99	99	98	99
8	75	81	71	82	68	81	24	99	99	100	99	99	100
9	80	86	76	86	73	84	26	99	100	100	99	99	100
10	83	89	79	88	77	86	26	99	100	100	100	100	100
11	85	90	82	90	81	89	27	100	100	100	100	100	100
12	87	92	85	91	84	90							
13	88	93	87	93	86	93							
14	91	95	89	94	89	95							
15	92	96	92	95	90	97							

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

多動・衝動性 (SNAP)

子どもの
名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	全くない (0)	たまにある (1)	よくある (2)	常にある (3)
10 手や足をそわそわと動かしたり、座っている時にももじもじする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 授業中など座っているべき時に席を離れてしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 落ち着いていなければならない時に走り回ったり、高いところによじ登ったりする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 静かに遊んだり余暇活動におとなしく参加することが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 じっとしてない、または何かに駆り立てられるように行動する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 シャベリすぎる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 質問が終わらないうちに、出し抜けて答えてしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 順番を待つことが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18 話を遮ったり、他の人がしていることのじゃまをする（会話やゲームに割り込むなど）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか？
ない () 少しある () 多くある ()

SNAP-IV 26 Parent Rating Scale

Swanson JM, Kraemer HC, Hinshaw SP, Arnold LE, Conners CK, Abikoff HB, et al. Clinical relevance of the primary findings of the MTA: success rates based on severity of ADHD and ODD symptoms at the end of treatment. Journal of the American Academy of Child and Adolescent Psychiatry. 2001;40:168-179.

多動・衝動性 (SNAP)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳		合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)		男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0	16	93	95	94	98	96	99
1	11	14	20	26	24	26	17	95	96	96	98	97	99
2	18	25	32	40	36	41	18	96	97	96	99	97	99
3	28	37	42	50	47	55	19	97	97	97	99	98	99
4	37	48	51	59	57	67	20	97	98	97	99	99	99
5	46	57	60	69	66	74	21	98	98	98	99	99	100
6	54	65	66	76	72	81	22	98	99	99	100	99	100
7	61	72	71	78	77	85	23	98	99	99	100	100	100
8	68	77	76	80	81	88	24	99	100	100	100	100	100
9	73	81	80	88	84	91	26	99	100	100	100	100	100
10	77	85	83	90	87	93	26	99	100	100	100	100	100
11	82	88	85	92	90	95	27	100	100	100	100	100	100
12	85	90	87	94	92	96							
13	88	92	89	95	93	98							
14	91	92	91	96	94	98							
15	92	93	93	97	95	98							

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

苛つき・怒り

(ARI)

子どもの
名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、ここ6ヶ月のあなたの子どもの最もあてはまる回答を選んでください。

	あてはまらない (0)	まあ当てはまる (1)	あてはまる (2)
1 他人によってすぐにいらいらさせられる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 しばしばかんしゃくを起こす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 長時間怒ったままている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 頻繁に腹を立てる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 すぐにかんしゃくを起こす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 日常的に、苛立ちが問題につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

苛つき・怒り (ARI)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	NA
1	25	14	22	19	0	NA
2	42	56	42	30	0	NA
3	60	70	54	42	14	NA
4	74	75	71	54	29	NA
5	88	80	78	59	50	NA
6	94	100	84	65	71	NA
7	100	100	88	71	86	NA
8	100	100	90	79	100	NA
9	100	100	92	82	100	NA
10	100	100	97	87	100	NA
11	100	100	100	94	100	NA
12	100	100	100	100	100	NA

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

対人関係における困難 (CAST)

子どもの
名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもの最もあてはまる回答を選んでください。

	いいえ (0)	はい (1)
1 他の子どもたちが遊んでいるゲームに気軽に参加しますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 自発的にあなたに話しかけてきますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 友達の輪に入りたがりますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 他の子どもたちと気軽に接しますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 双方向の会話を持続することができますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 同年齢の友達とほぼ同じ事・物に興味を示しますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 ただの知り合い以上の友達がありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 興味を持った物をあなたに見せようとすることはよくありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 冗談を言って楽しんだりしますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21 彼・彼女にとって、周りにいる人たちは重要ですか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23 上手く会話のキャッチボールができますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27 標準的に目を合わせますか (アイコンタクトを取りますか)?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

Childhood Asperger Syndrome Test

[Nau FJ Sco](#), S Baron-Cohen, P Bolton, and C Brayne. "The CAST (Childhood Asperger Syndrome Test):ty. Behaviour Preliminary Development of a UK Screen for Mainstream Primary-School-Age Children." In: Autism 6.1 (2002), pp. 9-31

対人関係における困難 (CAST)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	57	68	59	67	52	48
2	81	88	82	84	75	74
3	92	94	90	93	84	86
4	96	97	95	96	91	94
5	98	99	97	98	96	97
6	99	100	98	99	98	99
7	99	100	99	99	99	100
8	100	100	100	100	100	100
9	100	100	100	100	100	100
10	100	100	100	100	100	100
11	100	100	100	100	100	100
12	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。

限定的な興味や活動・反復的な行動 (CAST)

子どもの
名前 _____ 年齢 _____ 性別 _____

記入者 _____ 日付 _____

下記の項目について、あなたの子どもに最もあてはまる回答を選んでください。

	いいえ (0)	はい (1)
7 言葉を字義通りに受け取る傾向がありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 同じ動作を何度も繰り返すことが好きですか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18 礼儀のような社会的ルールを理解するのが難しいですか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20 変わった喋り方（過度に大人じみた喋り方や単調で抑揚のない喋り方など）をしますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25 しばしば、気の利かないことや社会的に不適切なことを言いますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28 奇妙な動作の繰り返しがありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
29 人と接する際、非常に一方的で、いつも自分がやりたいことや話したいことを通す傾向がありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30 自分のことを「彼」や「彼女」と言うことがありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
32 話の内容を上手く説明できないために、時々、聞き手が話への興味を失ってしまうことはありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
34 規則や日課を頑固に守ろうとしたり、人にそれを押し付けようとするため、問題が起こることがありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
36 相手が話したいことではなく、自分の興味があることに会話を向けることがしばしばありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
37 あまり使われない、または奇妙な言い回しをしますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

合計点 _____

パーセンタイル
(表1参照) _____

パーセンタイルから表2で諸提案を参照

これらの問題は、家族、友人との関係、学校での学習や活動において子どもの日常生活に悪影響を与えていますか? ない () 少しある () 多くある ()

Childhood Asperger Syndrome Test

[Nau FJ Sco](#), S Baron-Cohen, P Bolton, and C Brayne. "The CAST (Childhood Asperger Syndrome Test):ty. Behaviour Preliminary Development of a UK Screen for Mainstream Primary-School-Age Children." In: Autism 6.1 (2002), pp. 9-31

限定的な興味や活動・反復的な行動 (CAST)

表1 パーセンタイル（ブラジル人サンプルのデータを基に算出された標準値）

合計点	6-9歳		10-13歳		14-17歳	
	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)	男 (%)	女 (%)
0	0	0	0	0	0	0
1	19	24	24	27	22	22
2	47	54	54	57	49	52
3	66	74	71	76	70	71
4	78	85	83	86	83	82
5	87	90	91	91	89	89
6	92	94	95	95	93	93
7	96	96	97	97	97	96
8	98	98	99	98	98	98
9	99	99	99	99	99	98
10	99	99	100	100	100	99
11	100	100	100	100	100	100
12	100	100	100	100	100	100

A. R. Simioni, G. Polanczyk, L. A. Rohde, and G. A. Salum. "Translating Measurement-Based Care to Clinical Practice in the Real World: A Stratified Targeted Dimensional Approach to Child and Adolescent Mental Health". In: medRxiv (2020)

表2

%	症状	諸提案
<70	最小限	あなたの子どもの症状・様子は、多くの子どもたちの体験と同様のレベルであり、介入の必要はありません。しかし、運動や睡眠習慣を改善するなど健康的な生活を心がけることで、子どものメンタルヘルスを向上することが可能です。
70-89	軽度	軽度の症状が認められます。運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すよう促しましょう。3ヶ月後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、日常生活への影響を見直し、症状や問題の改善について子どもと一緒に考えてみましょう。
90-95	中程度	中程度の症状が認められます。症状の悪化を防ぐために運動や質の良い睡眠をとること、信頼できる人と困っていることや難しく感じていることについて話すように促すことが重要です。また、症状を和らげる方法を身に付けるため、子どもの困難に特化した心理教育的な資料を参考にしたり支援を受けたりすることを勧めます。2週間後に再び質問票に回答し、引き続き症状があるか、症状が落ち着いたかを確認してください。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への影響も見直してください。症状の継続、または悪化がみられる場合、そして生活への悪影響がより明らかにみられる場合は、専門家による検査を必要とするかもしれません。
>95	重度	重度の症状が認められます。運動や睡眠の確保、信頼できる人との相談、及び心理教育的支援に加え、適切な支援を受けるために専門家による検査を勧めます。日常生活、家族や友人との関係、学校生活への悪影響がみられる場合は、特に重要となります。また、生活への影響が深刻な場合には、自殺や暴力、虐待などの可能性も含め、専門家による検査と介入を受ける必要があります。